

## 第4 コミュニティの自治の確立に向けた方策

- ◆ コミュニティの自治の確立に向けては、住民が「自治」や「コミュニティ活動」に関する理解を深めるとともに、自治を行う組織が確かなものになること、すなわちコミュニティにおける「自治の基盤」が確立されることが重要。
- ◆ 特に、自治会・町内会は、住民にとって最も身近な、自治の基礎となる組織であり、自治協議会の運営や活動にあたって重要な役割を担っていることから、活性化や組織の強化に重点的に取り組んでいくことが必要。
- ◆ コミュニティが自ら取り組みを行うことを基本としながら、市においても、全区・全市的に実施すべき事項（全市的な広報活動など）や、コミュニティだけでは対応が難しい事項などへの対応・支援を行っていくことが望ましい。特に、校区間の情報共有や交流に積極的に取り組んでいくことが必要。

### 1 住民の自治意識の醸成

#### (1) 「自治」や「コミュニティ活動」を住民に身近なものにするための広報の実施

- 住民に「自治」や「コミュニティ活動」の重要性を認識してもらうため、コミュニティと市が、それぞれ、持っている広報手段を最大限に活用し、住民への広報活動を展開していくことが必要。

##### 【コミュニティの取り組み】

- ◇ 「自治協議会だより」やホームページ、ロコミなどにより、活動内容を住民や事業者に知らせる。

##### 【市の取り組み】

- ◇ 「市政だより」や「公民館だより」、市ホームページ、マスコミとのタイアップなど、あらゆる方法で、自治の意義、自治協議会や自治会・町内会の重要性・活動内容を広報する。
- ◇ 区単位で広報紙作成講座を実施するなど、コミュニティが行う広報活動を支援する。

## 2 自治の基盤づくり

### (1) 魅力的な自治協議会、自治会・町内会づくり

- 「自治」や「コミュニティ活動」に多くの住民の理解・参加を得るには、活動に魅力がある自治組織、住民に「必要だ」と思われるような自治組織をつくっていくことが不可欠。
- また、役員をはじめ運営に携わる方々が、「自治」の意義や自治組織の役割などについて理解を深め、住民による自治が真に実現されるよう取り組んでいく必要がある。

##### 【コミュニティの取り組み】

- ◇ 住民が興味を持つような行事や、防犯活動など住民のニーズが高い活動に取り組む。
- ◇ 「自治協議会だより」や回覧板、掲示板などにより、事業や会計などの情報を積極的に公開し、住民の理解のもとで民主的な運営を進める。
- ◇ 各区の自治協議会長や校区の自治会・町内会長の集まりにおいて、意見交換・勉強会などを行い、「自治」や、組織の運営、活動などに関する理解を深める。
- ◇ 自治会活動の活性化や民主的な運営に向け、自治協議会等が自治会・町内会にアドバイス（場合によっては、指導）を行う。

##### 【市の取り組み】

- ◇ 先進的な運営・活動の事例を把握し、校区担当職員を通じて情報を提供する。また、先進校区による事例発表会などを実施する。
- ◇ 「自治会活動ハンドブック」について、コミュニティにおいて活用しやすいよう、全体を「基礎編」「応用編」に分けるなど内容の改善を図る。

## (2) 自治会・町内会加入の促進

- 各自治会・町内会が単独で加入促進を行うのは限界がある。自治協議会を中心に、自治会・町内会が連携し、市の支援も得ながら取り組んでいくことが重要。
- 特に、集合住宅については、居住者への働きかけを行うことに加えて、建設・管理を行う事業者と交渉していくことが不可欠。市において、自治会・町内会と事業者が交渉できるような手段を講ずるとともに、業界団体と協議を行い、居住者の自治会・町内会加入の促進に向けた仕組みづくりを行っていくことが必要。

### 【コミュニティの取り組み】

- ◇ 区自治協議会会長会などで、“加入促進ちらし”を作成・配布する。
- ◇ 自治協議会内で情報交換を行いながら、自治会・町内会だけでなく地域の各団体も一体となって、地域全体で加入促進に取り組む。

### 【市の取り組み】

- ◇ 先進的な取り組みや成功事例を把握し、校区担当職員を通じて情報を提供する。
- ◇ マンションなどの建設時に地元自治会・町内会と協議するよう、建設業者に働きかける。また、加入促進に向け、業界団体（管理組合、不動産業者、建設・管理業者などによる団体）と協議する。
- ◇ “加入促進ちらし”の作成を支援する。また、区役所窓口などで転入者ほかに配布する。

## (3) コミュニティ活動を担う人材の確保

- コミュニティ活動を担う人材を確保するためには、活動の裾野を広げ、潜在的な人材を発掘していくことが必要。
- また、例えば、子ども会育成会など、特定の分野で活動した人材が、次は自治会・町内会で活躍するなど、校区内の人材交流を進めることが重要。

### 【コミュニティの取り組み】

- ◇ 1、2(1)(2)に取り組む中で、退職したばかりの人、コミュニティ活動に興味はあるが参加のきっかけがつかめない人など、潜在的な人材を発掘していく。
- ◇ すでに活動している人材が広く活躍できるよう、子ども会育成会と自治会・町内会など、校区の団体間の人材交流を進める。

### 【市の取り組み】

- ◇ セミナーの開催などにより、市民のコミュニティ活動への参加を促す。また、区単位で、人材育成のための研修会や講座などを実施する。
- ◇ 公民館が行う、地域の人材発掘・育成事業等を充実させる。